種名	ミ　サ　ゴ Pandion haliaetus
分類	ワシタカ目ワシタカ科
特徴	翼が細長くて尾が短い、下面の白っぽい大きなタカ。ユーラシアと北米大陸の亜寒帯からアフリカ大陸北部。亜熱帯に広く繁殖地を持つ。日本では北海道から沖縄まで繁殖し、留鳥だが、冬期に海の氷結する地域のものは氷結しない地域へ南下する。
生活	海岸、大きな川、湖などに棲み、よく水面上を高く飛びながら魚を探している。獲物を見つけると停空飛翔でねらいをつけ、頭をさげて脚を前に突き出した体勢で水に突っ込む。前後自在に開く外側の足指でしっかりとめ魚を捕まえる。水辺に近い大きな木の上に枯れ枝を積んで皿形の巣を作り、4月頃2～3卵を産む。抱卵日数は35日位、巣立ちまでの日数は50日位。
声	繁殖期以外は、ほとんど鳴くことがない。繁殖期には上空を飛びながら「ピョッピョッピョッ」と優しい声で鳴くことがある。また、巣に舞い下りる時にも「ピョッピョッ」と大きな声を出す。そのほか、警戒する時には「キッ、キッ」と鳴くという。
見分け方	頭を下面が白く、黒い眼帯がある。背面は暗褐色。たたんだ翼の先が尾を少し超える。腹や翼下面の一部が白いワシタカ類のうち、クマタカ若鳥は翼幅が広くて尾が長く、カンムリワシ若鳥は翼幅が広くて翼全体に丸みがある。
時期	(月)　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　11　12
その他	全長(L)♂55cm♀64cm　翼開長(W)157～174cm

参考文献：山渓カラー名鑑　日本の野鳥